【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和6年2月2日(2024.2.2)

【国際公開番号】WO2022/230810
【出願番号】特願2023-517509(P2023-517509)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　3/20(2006.01)
Ｈ０５Ｂ　3/84(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　3/20　３０７
Ｈ０５Ｂ　3/84

【手続補正書】
【提出日】令和5年10月18日(2023.10.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７８】
[フィルムヒータの作製]
（実施例１）
基材として厚さ１２５μｍのポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）フィルムを準備した。ＰＥＴフィルムの一方面上に、第１ハードコート層を形成した。具体的には、シリカフィラー（平均粒子径：１００ｎｍ、ＣＩＫナノテック製、商品名：ＡＢ－Ｓ５３）と、アクリル系のモノマー（硬化性化合物）及び光重合開始剤を含む樹脂組成物と、溶剤とを、配合して塗料を調製した。アクリル系のモノマーとしては、アイカ工業株式会社製のＺ－７３７－９ＡＬ（商品名）を、光重合開始剤としては、チバスペシャルティケミカルズ社製のイルガキュア１２７（商品名）を、溶剤としてはメチルエチルケトンを、それぞれ用いた。樹脂組成物の質量を基準とする光重合開始剤の含有量は５質量％であった。塗料の質量を基準とする溶剤の含有量は８０質量％であった。塗料の粘度（２０℃）は、０．９ｍＰａ・ｓであった。